2023 年度　各授業学習目標・授業目標　　科目名：2 年探究 D・サイエンス探究

高等部教育目標
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う
探究型カリキュラム教育/学習目標
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針　Five Principles for Learning
1. 自分事として　2. 社会/実践を通して　3.知識を大事に　4. ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを通して　5.生徒・教員が共に <ｵｰﾅｰｼｯﾌﾟ/一人称>　<PBL 型/ｱｸｼｮﾝ>　<自ら得る知識/高める関心>　<自分/他者のやりとり>　<共に探究する関係性>
上位学習目標
【知識・技能】 ・現在わかっている基本的な生命現象について、ミクロ（分子・細胞レベル）からマクロ（個体・生態系レベル）の知識を統合して説明できる ・サイエンスに関する論文・記事を読み、その内容を科学的に正しく説明できる 【思考力・判断力・表現力】 ・疑問や課題を解決するための論理的な道筋、実験方法を導くことができる ・得られたデータを客観的・論理的に考察し、一連の研究をプレゼンテーションや論文でアウトプットできる ・サイエンスに関する論文・記事や、他者の発表に対して、科学的思考に基づいて質問ができたり、疑問を持ったりすることができる 【学びに向かう力・人間性】 ・さまざまな自然現象に対して「おもしろい」と感じ、自発的にさらなる情報を探索して知識を身につけることができる ・環境問題について関心をもち、科学的思考に基づいた判断や行動ができる
下位学習目標
【知識・技能】 ①遺伝子とそのはたらきについて科学的に説明できる ②生物の進化とそのしくみについて科学的に説明できる 【思考力・判断力・表現力】 ①講義の内容やクラスメイトの発表内容に対して、科学的思考に基づいて質問ができる ②自然現象（生命現象）に関する疑問を解決するために必要な知識は何かを認知できる ③疑問や課題を解決するための論理的な道筋、実験方法を導くことができる。 【学びに向かう力・人間性】 ①自然現象（生命現象）のおもしろさに気づく ②授業内で疑問をもったことに対して、自発的にさらなる情報を探索する

授業日	9/12(火)	２学期授業回数	２回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】　【思考力・判断力・表現力】　【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・川でのフィールドワークのやり方、水生生物の採集法と同定法を学ぶ ・指標生物を用いて、水生生物相から川の水質を推定できることを学ぶ		
時間 授業内容	５・６限	仁川でフィールド実習。水生生物を採集し、種の同定を行う。環境省が指定する指標生物の採集状況から、仁川の水質を考察する。	
評価方法	なし		
宿題指示	なし		